



6月下旬に県で第4次地震被害想定が発表され、市内の家屋の全壊や半壊の戸数、死傷者の想定数が公表されました。

想定された被害よりも被害を少なくするためには、自助・共助が重要です。

災害に備え家庭や地域で再確認してください。



市民部 防災交通課
995-1817

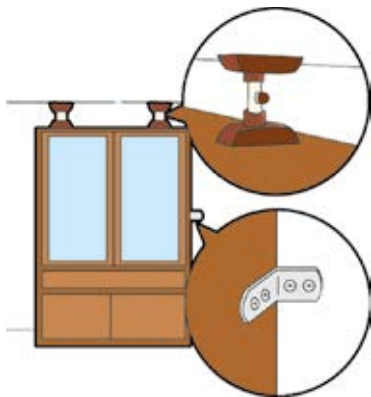
自助 自分の命は自分で守る

備蓄品・持ち出し品の確認

備蓄品は一人当たり、飲料水は最低9ℓ（3日分）、食料品では7日分（うち調理不要食3日分）を用意しましょう。また、医薬品や電池などは、定期的に点検し、使用期限のすぎたものは新しいものに交換しましょう。

家具の転倒を防ぐ

家具は壁に密着させて固定し、家具の大きさにあった転倒防止器具を取り付けましょう。また、重いものは高い場所に置かないようにしましょう。



家族防災会議

家族で災害への備えや起きた時の対応などを考えてみましょう。例えば、実際に避難場所まで歩いて道沿いの危険個所を確認してもよいでしょう。

有事の連絡体制の確認

災害時、家族が離れ離れになると、通信機器での連絡がほとんど困難になります。家族の安否確認には災害用伝言ダイヤル(※)を利用するなど、事前に連絡体制を確認しましょう。

※災害用伝言ダイヤル：「171」とダイヤル後、音声案内に従い伝言の録音や再生を行うことができる

共助 防災訓練への積極的な参加

大災害を乗り越えるには、多くの人手と助け合いが必要です。向こう三軒両隣で声を掛け合い、地域の防災訓練に積極的に参加してください。災害が発生した場合に、訓練以上のことはできません。

市総合防災訓練

9月1日(日)に国や県、市町を含め、自主防災関係団体が参加して防災訓練が行われます。市では東海地震を想定した発災後の医療救護の訓練を実施します。各家庭でも、防災マップを参考に救護所や広域避難所までの避難経路上に危険個所があるかどうかを確認し、災害発生時に最初に各家庭が集まる避難場所を確認してください。



区計画の防災訓練

防災の日に併せて防災訓練を計画している区があります。区によって内容は異なりますが、地域の防災能力を向上させ、自分自身・家族の命を守る訓練ですので積極的な参加をお願いします。

市地域防災訓練

12月の第1日曜日に、県内一斉の防災訓練が行われます。昨年度までは訓練が一斉に行われていたため、貸出用の資機材が不足し、満足のいく訓練ができない状況でした。今年度は、10月～12月の上旬を地域防災訓練期間とし、訓練日の分散をお願いしています。各区の訓練日を確認して、積極的な参加をお願いします。